

JPTA

# 能登国際女子オープンテニス 2009



【写真上】準々決勝で米村明子選手に敗れた奈良くるみ選手は高校3年生。15歳で世界スーパージュニア単優勝、ウィンブルドンジュニア複準優勝など日本女子プロの将来を担う逸材。



### 【大会結果】

#### シングルス

優勝：カロリナ・プリスコワ（チェコ）  
準優勝：久松志保（荏原製作所）

#### ダブルス

優勝：スー・ウェンシン（中国台北）  
ファン・イスアン（ 〃 ）  
準優勝：ハン・シンユン（中国）  
キム・ソージュン（韓国）



今大会を制したカロリナ・プリスコワ選手（チェコ）は17歳。双子のクリスティーナと共に、長身から繰り出す速いサービスと強いストロークでランキング上位選手を次々と破っていった。

3 回目の開催となったJPTA能登国際女子オープンテニス。今年9月6日から13日にかけて藤波運動公園で開催された。大会には、日本ランキング上位選手や世界ランキング100位の選手など世界各国から約90人の選手がエントリー。世界を目指す若き女子プロたちが、予選から白熱した試合を展開した。能都健民テニスコートには、県内外から延べ約4000人の観戦客が訪れた。テニスの町・能登町を全国に発信した国際大会の模様をレポートする。



【写真下】準決勝終了後、カロリナ選手にサインをもらう子どもたち。選手とふれあえることも能登国際の魅力の一つ。



シングルス準優勝の久松志保選手は第1シードのハン・シンユン選手（中国）を破って決勝に進出。能登国際初の日本人優勝が期待されたが、ファイナルセット、タイブレークで惜しくも敗れた。



【写真下】ダブルス決勝が行われた12日土曜日は、悪天候のため屋内テニスコート「WAVEのと」で試合が進められた。写真は米村明子選手。



【写真左・中】町内小中学校の児童・生徒も観戦に訪れたり、テニス体験をしてテニスに親しんだ。



ラインズマン、ボールボーイ、運営スタッフなど、大会は多くのボランティアに支えられている。表彰式終了後、日本プロテニス協会から能登町に、感謝状と記念品が贈られた。